

第三者評価結果

事業所名：厚木ASD支援センター

A-1 利用者の尊重と権利擁護

A-1-(1) 自己決定の尊重	第三者評価結果
<p>【A1】 A-1-(1)-① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。</p>	b
<p><コメント> 利用者に対する支援の内容やレベル、作業の提供の仕方を決定するためのアセスメントに評価キットを活用しています。評価キットは、利用者それぞれの興味や関心、それに基づく作業への取組の内容やレベルを判断するためのもので、事業所では利用者の反応を観察し、提供する作業や方法を決定しています。作業は、利用者の状況に合わせて個別に作成し、更に周囲の状況に影響されずに作業が行える環境を設定するため個別にパーテーションを設置しています。利用者は区切られた空間の中に作業場所と休憩スペースを作ってもらい、視覚的に標準化された手順にしたがって作業や休憩、食事などの流れに沿って行っています。利用者が提供した作業を受け入れているかどうかは、利用者の行動や落ち着き方で判断しています。作業に利用者が馴染めない場合は、繰り返し手順や環境の見直しなどを行います。所長は活動内容のメニューが少なく、十分利用者の希望に添えていないことが課題と考えています。</p>	
A-1-(2) 権利擁護	第三者評価結果
<p>【A2】 A-1-(2)-① 利用者の権利擁護に関する取組が徹底されている。</p>	c
<p><コメント> 法人の基本方針に人権の尊重を掲げています。事業所では権利擁護マニュアルに則り、職員は人権擁護のためのセルフチェックを行っています。また、法人の全体研修では権利擁護の内容で実施しており、一方事業所では支援の実際の場面を通して所長等が職員に伝えるとともに、研修や会議で周知・確認をしています。利用者に対する呼称や言動に関する配慮、利用者本人の前で本人の話をしていないこと、身体拘束への対応等について職員間で理解し共有しています。利用者が障害特性からパニックを起こすことがあり、その際には職員が必ず付き添って別室に連れ出し、落ち着くまで見守りを続けるなど身体拘束をしない対応を徹底しています。身体拘束については入所時の契約書に「身体拘束の禁止」条項を謳い、保護者に伝えてあります。所長は、虐待発生時の所管行政機関への報告等の具体的な手続きについて明確化し、職員全体で把握する必要があると考えています。</p>	

A-2 生活支援

A-2-(1) 支援の基本	第三者評価結果
<p>【A3】 A-2-(1)-① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。</p>	b
<p><コメント> 事業所では、日々の支援に関して家族と話し合い、連絡帳を活用し、情報を得ながら個別支援計画に基づいて利用者の作業のレベルアップを図る取組をしています。作業に関しては、利用者本人の得意なことや達成の可能性があることなどを大事にし、治具の利用を始めとして物理的な工夫をしています。また、仕事が終わった後に隣の店舗でチョコレートを買う予定を入れるなど、作業後の楽しさを示すことで作業へのモチベーションを上げる工夫をしています。当面は、利用者が安心して安定した日中活動ができることを支援の最優先課題としており、生活面での自立に向けてのレベルアップについては、現在は積極的な取組みまで至っていません。作業以外の利用者の行動全般についても、見守ることを基本としています。所長は、生活面での改善について家族の希望などがあれば話し合い、対応について検討したいと考えています。</p>	
<p>【A4】 A-2-(1)-② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。</p>	b
<p><コメント> 事業所の利用対象を、自閉症スペクトラム障害 (ASD) の方たちに特化して受け入れています。また、多くの利用者に重度の知的障害があるため、言語を利用したコミュニケーションが非常に困難な状況です。職員は、利用者とのコミュニケーションを図る時に、ASDの障害特性を考慮し、精神的な安定と安心を図ることを基本として、それぞれの利用者の特徴を把握し、その方に最適なコミュニケーションの方法を工夫し実践しています。福祉サービスの提供にあたっては、個々のスケジュールを視覚化しており、時間の経過と行う作業を順番に縦長で一覧できるように絵カードや写真を羅列する場合や重ねた絵カード等をめくりながら手順を確認する場合、一枚の紙に、その日の個人毎のスケジュールを張り出す場合、筆談を利用するなど、さまざまな方法を取っています。課題として利用者自身が思いや要望、拒否の意思などを発信できる手段が不足しており、事業所では更に工夫が必要と考えています。</p>	

<p>【A5】 A-2-(1)-③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。</p>	b
<p><コメント> 事業所では、言語を用い会話ができる利用者が少ない状況ですが、利用者からの声掛けや行動で示す態度に対しては個別に丁寧に応じています。日常的な利用者から職員への働きかけに対しては、各作業室やグループで職員が内容を共有し、理解するための協議を行っています。職員の理解や認識にずれがあり、利用者の意思にそぐわない対応をしてしまった場合など、利用者は『違う』という気持ちを様々に主張するので利用者の伝えたいことを理解することは困難を伴いますが、職員は利用者の意思に添った支援になっているのかを協議しながら、できる限りの対応をしています。利用者の主張に対して、コミュニケーション方法の確立が不十分なことから情報提供や説明を十分にすることはできていません。家族との話し合いや相互の情報交換も含めて、要望等に関しては個別支援計画に反映するよう努めています。</p>	
<p>【A6】 A-2-(1)-④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。</p>	b
<p><コメント> 事業所での日中活動は、自立課題としての作業をまず充実させることを考えている段階で、個々に異なる特性を持った利用者に対して、主に、どのように作業に向き合ってもらえるかについて取り組んでいます。生活介護事業における日中活動の自立課題について、現在は受注作業としてCDの解体作業とボールペンの一部組立作業を提供していますが、事業所では受注する作業内容や作業時間を拡大したいと考えています。作業室では、利用者個人に対して担当の職員は決めておらず、全員が各利用者の支援計画を念頭に作業場所や対象者等、その日の状況に応じて支援を実施しながら、常時支援内容等の検討・見直しを行っています。余暇活動やスポーツなどについての支援は十分ではありません。所長としては、将来的には取り入れていきたいとの考えがありますが、就労継続支援B型の作業内容も含め、当面は個別支援計画にある支援内容の充実・拡大に力を注ぎたいと考えています。</p>	
<p>【A7】 A-2-(1)-⑤ 利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っている。</p>	a
<p><コメント> 事業所の利用対象は、自閉症スペクトラム障害（ASD）で多くが重度の知的障害のある方たちに特化しています。したがって、支援にはASDに関する専門知識や技術が必要となるため、研修は自閉症に関する内容に注力しています。職員向けの教材を事業所内に配架して学ぶ機会を作り、隔月で外部からの講師によるスーパービジョンを実施、日常的には所長など常勤職員がOJTの形で職員をサポートしています。利用者支援は、評価キットを使用して各利用者の興味や理解できる内容、程度等を把握し、その方に応じた課題とそれに添った支援を提供し、不適応などの課題については職員間で情報共有と対策を講じています。職員間で解決できない場合は、スーパーバイザーの力を借りています。利用者は通常と異なる環境や少しの刺激に敏感でトラブルに繋がりがやすい面もあり、トラブルを未然防止するために状況に応じ作業や食事の場所を変更するなど、職員は細心の注意を払い支援しています。</p>	
<p>A-2-(2) 日常的な生活支援</p>	<p>第三者評価結果</p>
<p>【A8】 A-2-(2)-① 個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。</p>	b
<p><コメント> 昼食は、同じ法人の就労支援継続A型の施設から配送された食事を提供しているため、一部家族の希望で食事の形態等を変更する他は、利用者の嗜好は反映されていません。食堂では、利用者がそれぞれの日中活動の進捗に合わせて個別に食事ができるよう、また、できるだけ刺激を排除するためパーテーションを設置するなどの配慮をしています。排せつについては、殆ど全員が見守りを必要としており、職員が必ず付き添っています。同時刻に排せつのタイミングが重なることで起こるトラブルを回避するために、動線を工夫し接触を避けるようにしています。送迎車の乗車時にも、例えば待ち時間にめくって感覚を楽しめるよう、雑誌等を用意するなど、利用者が安心して乗車できるよう工夫しています。日常的な生活支援につながる情報は、連絡帳を活用するなど、家族との情報交換を密にして共有し役立てています。入浴支援は行っていません。</p>	

A-2-(3) 生活環境	第三者評価結果
【A9】 A-2-(3)-① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	a
<p><コメント></p> <p>施設では、終業後に職員が清掃を実施し、特に就労継続支援B型作業スペースについては食品を扱うこともあり、清潔な状態を保っています。利用者の特性から、相互の刺激による不安や不適応行動を防止するため、生活介護支援対象の利用者全員に対して作業室にパーテーションを設けています。各パーテーションの中は、更に作業スペースと休憩スペースに区切られており、利用者は個別の作業手順を示したワークシステムの時間割にしたがって、2つのスペースを利用しています。休憩スペースでは利用者がそれぞれ自由な時間を過ごしています。トイレは二重のドアが設置され、プライバシーが守られる構造です。生活環境の整備にあたっては、評価キットを活用しこまめに利用者の興味や関心を職員が把握することで、より適切な環境を提供することにつながっています。利用者のパニック時には、必ず職員1名が付き添い、時間がかかっても落ち着くまで別室で対応するようにしています。</p>	
A-2-(4) 機能訓練・生活訓練	第三者評価結果
【A10】 A-2-(4)-① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	b
<p><コメント></p> <p>利用者の心身の状況に応じた機能訓練や生活訓練を行っています。生活訓練では衣服やタオルを畳むなどの家事活動の練習を行っています。排せつの支援においては、出来るだけ本人自身で出来るようサポートして対応しています。食事場所については食堂だけに拘らず、本人が希望し落ち着ける場所で食事支援を実施するなどの工夫をしています。隔月に自閉症スペクトラム障害(ASD)の専門医が来所して、利用者の生活状況を確認し専門家の立場から支援内容について助言をしています。職員は支援に必要とされる専門知識や技能を現場で具体的な指導を受け、支援の技術向上に取り組んでいます。ASDの特性で、利用者が主体的に機能訓練や生活訓練を行うことは難しい状況です。今後、生活訓練として、外出や買い物を実施するなど、生活面での社会性と楽しみの幅を広げる工夫も取り入れた支援計画の見直しが期待されます。</p>	
A-2-(5) 健康管理・医療的な支援	第三者評価結果
【A11】 A-2-(5)-① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	a
<p><コメント></p> <p>利用者の健康状態や体調変化等を食事摂取量や排せつなど支援のさまざまな場面を通じて把握に努めています。排泄状況については、事業所内でのトイレの利用の記録を確認しています。また介助の必要な一部の利用者には排せつの支援を同性支援で実施しています。毎月定期的に看護師が来所して健康相談や季節の健康面での注意事項等を伝え、利用者の健康状況を確認しています。必要時は、家族に医師への受診をすすめるなど、利用者の健康管理を適切に実施しています。また、かきむしり等軽度の皮膚疾患等については事業所で処置もしています。年1回健康診断を実施し、定期的な体調管理を行っています。運動不足になりがちな利用者の健康管理の一環として、希望する利用者には運動プログラムとして踏み台昇降や、ランニングマシンを使ったランニング、ウォーキング運動の支援も実施しています。</p>	
【A12】 A-2-(5)-② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	非該当
<p><コメント></p> <p>医療的な支援は実施していないため、非該当となります。</p>	
A-2-(6) 社会参加、学習支援	第三者評価結果
【A13】 A-2-(6)-① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	b
<p><コメント></p> <p>利用者や家族の希望と意向を把握し、利用者一人ひとりのニーズに合わせて、本人が取り組むことが可能な社会参加や学習の為の支援を行っています。家事のスキルを上げる希望をもつ利用者とは、洗濯物を畳む作業や、調理の希望に対してはホットケーキを焼いたり、お菓子作りの支援を行っています。また殆どの利用者が休憩時間にスマートフォンを使って、自由に本人が希望するアプリケーション動画の閲覧やゲームを楽しみ、映像を通して視野を広げ、社会性の育成につながっています。各利用者は休憩時間終了時は、直ちに視聴やゲームをやめ、作業に取り組んでいます。現在は事業所開設2年目という状況で、まだ地域社会でのレクリエーション等の社会参加は出来ていません。今後、利用者の希望・意向に沿い、日中活動の多様化に取り組み、社会参加に資する情報や学習・体験の機会を提供する等の支援の実施が期待されます。</p>	

A-2-(7) 地域生活への移行と地域生活の支援	第三者評価結果
【A14】 A-2-(7)-① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	b

<コメント>

利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や、安心して地域での社会参加ができるよう支援する旨が事業計画書に明確に記載されています。利用者本人の意向や希望は、家族からの話で把握することが多い状況ですが、利用者の表情や様子からも本人の意向を汲み取るよう努めています。利用者から、作業時間帯に休みたいとの希望が出された時などは、スケジュールを変更して要望に応じています。また、本人・家族からの希望には柔軟に対応しており、3時のおやつを実施し支援している利用者もいます。飲料の自動販売機も要望により設置し、飲み物を自身で飲むことが出来るようにしています。事業所では、地域の社会資源に関する情報（レクリエーション活動の体験等）や地域生活へつながる具体的な対応・支援の実施を今後の課題としています。

A-2-(8) 家族等との連携・交流と家族支援	第三者評価結果
【A15】 A-2-(8)-① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	a

<コメント>

利用者家族との連携・交流を通して家族支援を実施しています。事業所は支援の方針策定の際は、自閉症評価キットによる評価を実施していますが、評価方法やその結果について詳しく説明するよう努め、事業所での利用者への支援の進め方について必要に応じて家族と相談しています。生活介護利用者は事業所の送迎車を利用していますが、就労継続支援B型の利用者は全員が家族の車もしくは公共交通機関と徒歩での来所です。送迎を行う利用者へは、朝夕の送迎時に直接家族と話す機会を作っています。直接会えない家族とは連絡ノートを使用して事業所での生活状況等の報告や連絡事項等を伝え、家族とコミュニケーションを図っています。家族等からの相談や問い合わせがあれば即対応するなど、コミュニケーションは様々な工夫をして支援しています。

A-3 発達支援

A-3-(1) 発達支援	
【A16】 A-3-(1)-① 子どもの障害の状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。	評価外

A-4 就労支援

A-4-(1) 就労支援	第三者評価結果
【A17】 A-4-(1)-① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	a

<コメント>

事業所は就労継続支援B型の施設として、利用者一人ひとりの働く力や可能性を引き出す取組や工夫を行い、チョコレートの製造・販売事業を行っています。チョコレートの製造・梱包については職員がチョコレート会社の製造研修に参加し実習して準備を進めました。利用者の意向や障害の状況に合わせて、作業工程表に基づき作業の担当を決め、OJT研修を通じて必要な作業内容の知識・技術の習得を支援しています。作業に取り組みやすいように治具を製作し、それを使用して均質な商品が出来るよう支援しています。現在では利用者が新たな作業工程を体験したいと、本人の希望を申し出るなど、働く意欲の向上が見られてきました。企業と連携し就労の機会を作ることにより、利用者はチョコレートの製造や梱包作業等を通じて、働くためのマナー、知識・技術の習得が進み、能力の向上が図られています。

【A18】 A-4-(1)-② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるような取組と配慮を行っている。	a
--	---

<コメント>

現在、仕事時間は、仕事2対休憩1の配分で、利用者の意向や障害の状況に合わせた時間設定になっています。チョコレートの製造工程は、チョコレート・ドリンク等の製品づくり、製品のラベル貼り、製品の梱包等の作業です。作業は作業工程表で管理され、作業内容については、視覚的に提示する等、利用者の障害特性に配慮し工夫して支援しています。仕事内容は定期的にローテーションされています。食品を扱っていますので、衛生管理に留意し、手洗い、帽子・マスクの着用のほか、材料・治具・製造器具等の衛生管理に細心の注意を払っています。仕事場は1階で店舗に隣接しています。事業所では、店舗での月々変動の多い売り上げ実績を分析し、売り上げを伸ばして工賃を引き上げることや年度内に工賃を平準化して支払うための工夫に取り組んでいます。また、利用者一人ひとりの障害に応じて適切な労働環境が確保できるよう工夫しています。

【A19】 A-4-(1)-③
職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。

b

<コメント>

事業所にはチョコレート会社のフランチャイズ店として、1階に店舗が併設され、合わせて製造ルームやストックスペース等があります。就労継続支援B型事業所ですが、一面では障がい者に仕事の機会を提供する職場としての機能を有しています。事業所は発足後2年目で、利用者に働き方の様々な支援を通して働く力や可能性を引き出し、働くことについての思いや希望を高めて行く支援を継続して実施するとともに、利用者にとって居心地の良い環境を整備することで利用者の定着を図っています。利用者の仕事への意欲や、やりがいを高める支援を継続し、今後利用者に新たな就労への機会につながる就職活動の支援の実施が期待されます。障がい者就業・生活支援センターやハローワーク等との連携を定期的かつ適切に実施することが期待されます。